

那珂川町合併1周年記念
那珂川町社会福祉協議会合併記念

第1回那珂川町福祉まつり

「みんなで創るやさしいまち

～『こころ』かよう地域づくり～

那珂川町合併1周年、那珂川町社会福祉協議会の合併を記念して、第1回那珂川町福祉まつりが10月21日、町小川総合福祉センターで行なわれました。

あじさいホールで行われたオープニングセレモニーでは町合併に際して功績のあった51名と寄付者4名に川崎町長から表彰状が贈られました。

また、国安会長から町社会

福祉協議会表彰状が社会福祉に貢献した14名に手渡されました。

那珂川町社会福祉協議会、国安隆夫会長が「那珂川町社会福祉協議会は地域住民との一体感の醸成と融和を図り、住民との信頼関係が作れるよう、常に会員の視点に立ち新しい地域づくりを進めているところです。社会福祉は、ボランティア団体、その他関係団体と連携、協力なくしては成り立ちません。今後とも会員の皆さま方とともに、更なるご支援ご協力をお願い申し上げます」とあいさつしました。

その後、アトラクションとして小川第1・2・3保育園児によるYOSAKOIソ



ランが披露され、関係者約300人とともに合併を祝いました。

会場となったすこやか共生館多目的集会所では「うぐいす工房」「作業所ポニー」の仲間たちが岡倉ゆかりさんとミニコンサートを楽しみました。駐車場では、苗木の配布やとちぎ和牛の試食など、様々なイベントが行なわれ、訪れた家族づれは福祉まつりを楽しんでいました。

ホームステイ Weekend in なかがわ



国際交流員
アンドリュー・シューク

私は10月13日～15日まで那珂川町の民家にホームステイをしました。日本人の一家に3カ国（タイ・中国・カナダ）の人がホームステイをしたので、4カ国の人が親交を深めながら過ごしました。いろいろなことを勉強できました。

ホームステイ期間中に国際イベントで稲刈りの機会もありました。みんなで協力することが出来、いくつかの国の人とふれあいながら、田んぼで鎌を手に働きました。田植えのときに行けなくて残念でしたが、土地から田んぼになることや、米になるまでは一人では出来ず、みんなで一緒に協力しなければならぬので、日本で大切な習慣の一つがわかりました。外国人が参加すれば参加するほどいい国際交流だと思えます。

おいしい日本料理がありました。そばを作りました。はじめてだったので、難しく、うどんの太さになってしまい

ましたが、やはり手作りなのでおいしかったです。自分の手で作るということから日本の原風景が感じられました。カツオを食べました。カツオという言葉は中国の似ている発音では「骨がのどに刺さっている」という意味があることがわかりました。あと、天ぷらと納豆フライも食べました。おいしくいただいているときに関東地域の名物ではないかと思いました。餃子も食べました。栃木県の名物で、とてもおいしかったです。

日本的な体験といえば、ろくろを使っての陶器作りを初めてしました。1回目はやわらかい粘土を倒してしまいましたが、先生のお手本のおかげで2回目花瓶がよくできました。焼き上がりを楽しみに待っています。

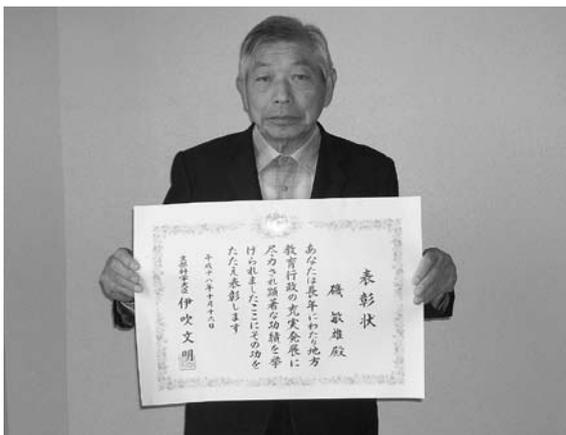
高瀬のやなを見ました。やなにいた子どもたちが鮎を手で取ることができるのがおもしろかったです。来年、またやなにいくことを楽しみにしています。

日本的な活動を体験しながら国際交流のことを学びました。このホームステイウィークエンドでは、4カ国の人が集まって親しむこと、仲を深めることが出来、国際交流というものがありました。

磯敏雄さんが
地方教育行政
功労者表彰

長年にわたり、教育の発展と充実に貢献された磯敏雄さんが、平成18年度地方教育行政功労者表彰で文部科学大臣表彰を受賞しました。

磯さんは平成5年、旧馬頭町教育委員会委員に任命された後、教育委員長を7年間努め、地区の教育行政の円滑な運営のため、献身的に尽力されました。その功績が認められ今回受賞されたものです。



浄法寺大日堂で鐘を新調

昭和52年から毎朝6時に地元の中学生在が鐘を突き、一日の始まりを告げてきた浄法寺大日堂で10月1日、梵鐘奉納法要式典が行われました。

式典は氏子や地元の住民ら約40人が見守る中、穴山桂介さん（小川中3年）などが突き初めを行いました。

この鐘は1687年、住職の病気の全快を祈願して奉納され、その後、太平洋戦争中の昭和17年に供出。昭和30年、地元住民が2代目の鐘を設置し、地域で親しまれてきました。昭和50年代に亀裂が入り、補修しながら使用してきましたが、今回浄法寺地区85戸の寄付により新調したものです。

参加者は「良く響いて、周辺一帯に聞こえる」と話していました。

全国スポーツ・レクリエーション祭で特別賞

10月21日から24日にかけて、鳥取県で開催された第19回全国スポーツ・レクリエーション祭「スポレク鳥取2006」のゲートボールの部で小川チームが出場し、特別賞を受賞しました。

ゲートボール県代表として当町から高瀬孝主将他6名が出場し奮闘しました。残念ながら決勝トーナメントには出場できませんでしたが、敗者復活戦の結果準優勝し、特別賞を手にしました。



てらふれあいコンサート

長泉寺



本物の音楽に親しんでもらおうと10月22日、長泉寺（白久）で「てらふれあいコンサート」が開かれました。

今年で6回目となるこのコンサートは、宇都宮市在住で二胡の奏者として活躍されている張曉東さんが中心となっており、今年も尺八や三味線、民謡を歌うボーカルなど「舞琉華瑠」のコラボレーションです。

静かな幽玄の世界に浸った尺八の吹奏、力強い三味線の音色など楽器の特徴を生かした演奏で聴衆を魅了しました。